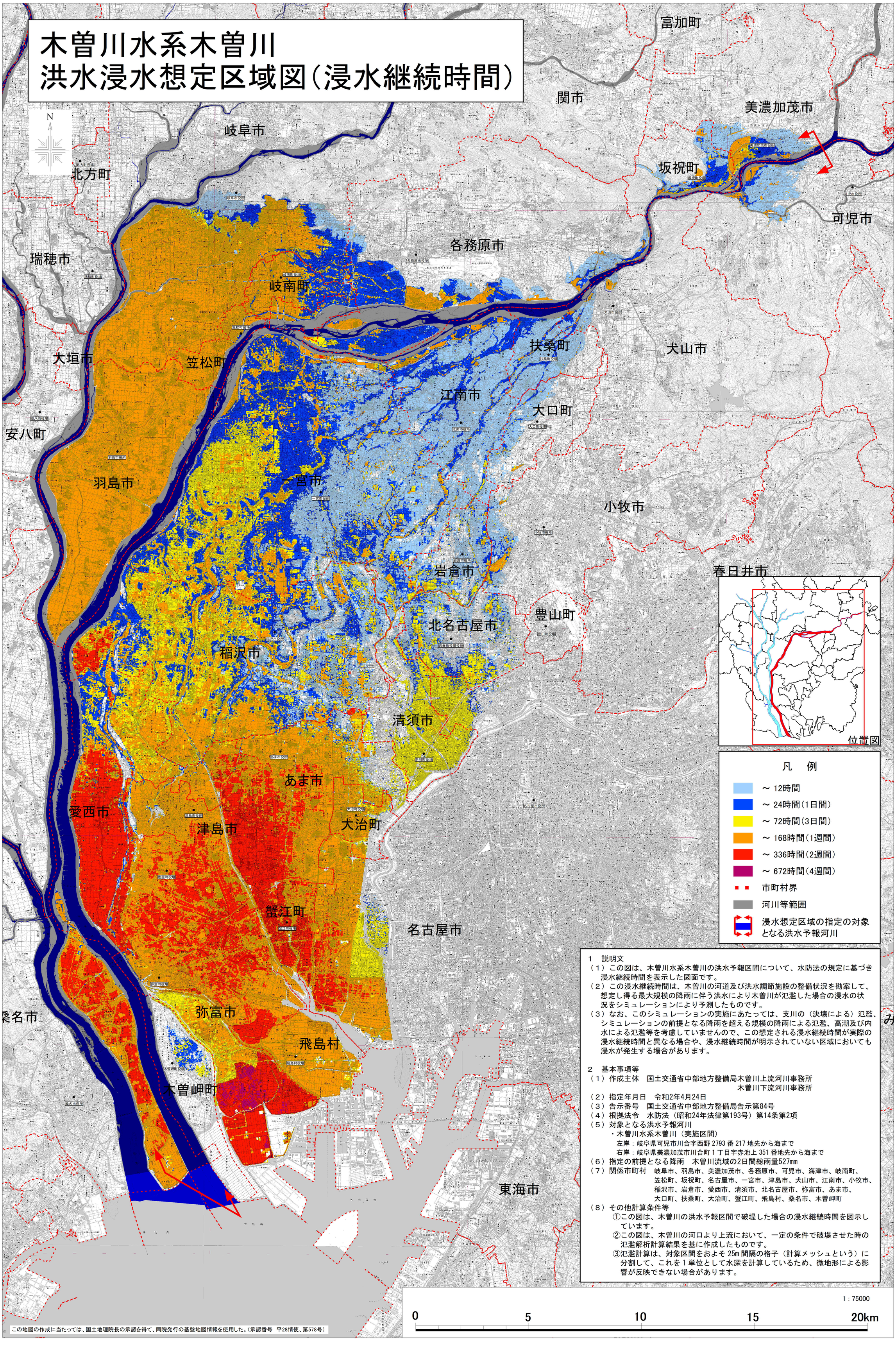
木曽川水系木曽川
洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）



1　説明文

（１）この図は、木曽川水系木曽川の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。

（２）この浸水継続時間は、木曽川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により木曽川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（３）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2　基本事項等

（１）作成主体　国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所
木曽川下流河川事務所

（２）指定年月日　令和2年4月24日

（３）告示番号　国土交通省中部地方整備局告示第84号

（４）根拠法令　水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項

（５）対象となる洪水予報河川

・木曽川水系木曽川（実施区間）

左岸：岐阜県可児市川合字西野 2793 番 217 地先から海まで

右岸：岐阜県美濃加茂市川合町 1 丁目字赤池上 351 番地先から海まで

（６）指定の前提となる降雨　木曽川流域の2日間総雨量527mm

（７）関係市町村　岐阜市、羽島市、美濃加茂市、各務原市、可児市、海津市、岐南町、笠松町、坂祝町、名古屋市、一宮市、津島市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、桑名市、木曽岬町

（８）その他計算条件等

①この図は、木曽川の洪水予報区間で破堤した場合の浸水継続時間を図示しています。

②この図は、木曽川の河口より上流において、一定の条件で破堤させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

③氾濫計算は、対象区間をおよそ 25m 間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを 1 単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号　平28情使、第578号）